

健康福祉常任委員会から

2023年度の決算認定を行い、外国につながる妊産婦さんへの外国語対応の拡充を求めて、意見をつけました

2023年度の母子手帳発行数2,291冊のうち外国語版（10か国語）の合計は76冊で年々増加しています。妊婦面接や産後ケア、新生児全戸訪問などの事業における外国語対応チラシは英語と日本語のみ。アプリで簡単な翻訳はできても、支援制度、教育システム等、国による違いをお互いに理解するためにも、担当職員への特別の研修や他部署との連携、情報共有が必要であると意見しました。

心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業とする請願

審査の上、本会議で賛成多数で可決しました。

マイナ保険証 あわてて作らなくて大丈夫です！

国民健康保険条例の一部改正の議案とマイナ保険証利用に関する行政報告がありました。

現在発行されている町田市の国民健康保険証の有効期限は2025年9月30日、後期高齢者医療保険証は2025年7月31日ですが、マイナ保険証が無くても有効期限前に送付される「資格確認書」で受診できます。詳細は11月の広報まちだで周知するとのことですが、マイナ保険証に偏らない、正確でわかりやすい情報提供を求めました。誰もがもれなく安心して受けられる医療体制の保障のためにも、「2024年12月2日以降保険証の新規発行はしない」は撤回すべきです。

※社会保険加入者は2025年12月1日まで現保険証で、その後は申請無しで送付される「資格確認書」で受診できます。

国への意見書

「在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書」を提案

賛成多数で採択されました。

みどりのつぶやき



衆議院議員選挙が終わりました。そもそも新総理就任の直後に解散総選挙って、オカシくないですか？ 憲法には衆議院の解散について、69条と7条(天皇の国事行為)で定められていますが、7条解散は任期満了前に衆議員全員を首にできるオソロシイ権力の使い方。前回2021年の衆議院選挙(投票率約54%)の費用は約678億円。災害復興や貧困対策など、いま必要なところに使うべき。こんな茶番には、国民一揆かストライキだ！

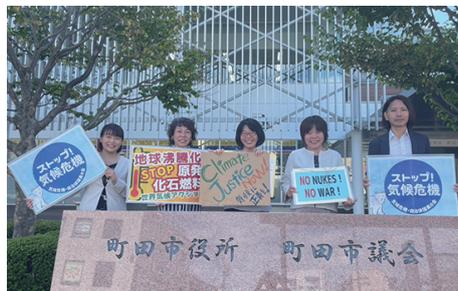
でも、どんな選挙でもまずは投票

ストップ！ 気候危機

先日の石川県での豪雨被害に遭われた方に、心よりお見舞い申し上げます。このような「100年に一度」級の豪雨が各地で頻発し、毎年のように夏の最高気温が塗り替えられるなどの危険な現象は、主に私たち人類の責任と言わざるを得ません。

9月議会中の昼休み、気候危機を訴えるスタンディングアクションを超党派議員と行ないました。

これは「2030年までに温室効果ガス半減・2050年までに実質ゼロ」を実現するための「気候非常事態宣言」



と、実効的な対策や行動計画の立案と実施を求めて、2019年から活動してきた「気候危機・自治体議員の会」の呼びかけに賛同したものです。

土や緑などの自然の力を活かしたグリーンインフラによるまちづくりをすすめ、化石燃料と原発に頼らず、自然エネルギー100%で豊かな社会を創ることに、真剣に取り組まなければいけないと強く思います。

そして、戦争こそが最大の環境破壊です。

身の回りから、ひとつずつでも毎日取り組むことが、大きな変化につながると信じて…。

町田・生活者ネットワークの…

議員は交代制

議員は議員報酬の一部を生活者ネットワークに寄付し、市民の政治活動に活かします

選挙はカンパとボランティアで郵便振替口座 00170-1-411651 町田・生活者ネットワーク

カンパを受付中です！

